

令和 5年度予算見積調書

課室名: 高校教育指導課

担当名: 教育課程担当

内線: 7391

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
P23	県立高校教育環境整備支援事業		一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容充実費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	障害者基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律		針路分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現 0703 障害者の自立・生活支援	SDGsゴール 4 SDGsターゲット	4 4-1, 4-3, 4-5
1 事業の概要 インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のある生徒が、県立高校で安心・安全な学校生活を送れるよう支援を行う必要がある。 県立高校に生活介助支援員を配置し、身体障害のある生徒の日常生活の介助を行う。 また、高校通級制度の開始に伴い、研究校を指定し通級指導の研究を行う。 ア 県立高校教育環境整備支援事業 2,360千円 イ 県立高校通級指導研究事業 11,355千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 県立高校教育環境整備支援事業 2,360千円 身体障害のある生徒に対し、日常生活の介助を目的に生活介助支援員を配置 修学旅行等校外行事への支援員の同行及び必要用品(車椅子等)の貸与 イ 県立高校通級指導研究事業 11,355千円 高校通級制度の開始に伴い、研究校を指定し通級指導の研究を行う。 (2) 事業計画 ア 県立高校教育環境整備支援事業 障害のある高校生が安心・安全な学校生活を送れるよう、生活介助支援員の配置など新しい視点で支援を行っていく。 イ 県立高校通級指導研究事業 研究校において、通級指導の実施、通級理解の促進、教材等の整備を行い、適切な指導体制の在り方を研究する。 (3) 事業効果 ア 県立高校教育環境整備支援事業 各学校における支援の標準化 安心で安全な学校生活環境の整備 イ 県立高校通級指導研究事業 適切な通級指導体制の確立 (4) その他【前年度からの変更点】 イ 通級指導指定校追加による増					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)高等学校費 (細目)生徒経費 (細目)生徒経費 (積算内容)特別支援教育支援費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	13,715						13,715	424
前年額	13,291						13,291	

事業内訳書

事業名	県立高校教育環境整備支援事業		
単位事業名	県立高校教育環境整備支援事業	予算額	2,360千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	870	△300	校外行事等における一時的な支援（有償ボランティア等） 2回×6校 修学旅行等泊を伴う校外行事 5校
役務費	1,190	△240	校外行事等における一時的な支援（ヘルパーによる外出補助） 2回×6校 修学旅行等泊を伴う校外行事（ヘルパーによる外出補助） 5校 手話通訳料 24回
使用料及び賃借料	300	0	車いす等福祉器具の使用料 5日×6校
合計	2,360	△540	

単位事業名	県立高校通級指導研究事業	予算額	11,355千円
-------	--------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	7,800	887	臨床心理士 35回×8校 通級支援員 35回×8校 研修会講師謝金 4校

単位事業名	県立高校通級指導研究事業	予算額	11,355千円
-------	--------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	940	10	巡回指導旅費 35週×8人 連絡協議会旅費 35人×4回 先進校視察旅費 1校
需用費	2,300	98	教材費 8校 教室整備代 2校 無線LAN工事代 1校
使用料及び賃借料	175	△28	ウイルス対策ソフトライセンス料 8校 連絡協議会等会場使用料 1回
備品購入費	140	△3	検査キット 1台×1校
合計	11,355	964	